

事業名：学校図書館事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の児童生徒

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,726	8,668	8,570	8,583
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

学校図書館の図書の新規購入・更新

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	図書購入冊数	冊	11,588	10,489	14,777	8,294
活動指標 2	環境改善にかかる費用	千円	1,088	1,207	2,999	2,554

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校図書館の蔵書の充実を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	蔵書率	%	88.3	92.8	95.8	97.4
成果指標 2	学校図書館図書標準蔵書冊数達成校割合	%	23.1	36	44	68

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	18,100	17,685	16,410	14,758
正職員人件費 (B)		千円	3,048	3,051	3,112	3,096
総事業費 (A+B)		千円	21,148	20,736	19,522	17,854

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）			
2年度	図書及び書架の購入	図書購入費	小学校	8,323千円	
			中学校	3,890千円	
		書架購入費	小学校	1,017千円	
			中学校	396千円	

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：教育研究会事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市教育研究会

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	教育研究会所属教員数	人	612	604	603	604
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市教育研究会が行う事業の経費の一部を補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	5,200	5,200	5,200	5,200
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

教職員の資質を向上させるための研修会等を開催する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	研修会等開催日数	日	182	171	184	179
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	5,200	5,200	5,200	5,200
正職員人件費 (B)		千円	762	763	778	774
総事業費 (A+B)		千円	5,962	5,963	5,978	5,974

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	江別市教育研究会に対し所要の経費を補助する。	江別市教育研究会補助金 5,200千円

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：校外学習推進事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・スキー授業を受ける小中学校児童生徒
- ・ファースト・コンサート事業に参加する小学校児童数

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	スキー授業を受ける小中学校児童生徒数	人	5,757	5,273	5,365	5,387
対象指標 2	ファースト・コンサート事業に参加する小学校児童数	人	0	0	935	923

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・学校単位で行うスキー授業のうち、1回分のバス賃借料を負担する。
- ・ファースト・コンサートに参加するために、学校が借り上げるバス賃借料を負担する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	借上したスキーバスの台数	台	161	154	163	164
活動指標 2	借上したファースト・コンサート事業のバス台数	台	0	0	31	28

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・スキー授業実施に係る保護者の負担軽減により、スキー授業の円滑な実施を図る。
- ・ファースト・コンサート参加に係る保護者負担を軽減し、参加を促進することにより、教育活動の充実を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	スキー授業に参加した児童生徒の延人数	人	5,757	5,273	5,365	5,387
成果指標 2	ファースト・コンサート事業に参加した児童の延人数	人	0	0	935	923

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	12,415	11,830	16,128	16,075
正職員人件費 (B)		千円	2,285	2,288	2,333	1,548
総事業費 (A+B)		千円	14,700	14,118	18,461	17,623

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	・小中学校のスキー授業等の実施にあたり、1回分のバス賃借料を負担する。 ・小学校がファーストコンサート事業に参加するにあたり、バス賃借料を負担する。	スキー授業等 ・小学校 10,332千円 ・中学校 4,027千円 ファーストコンサート事業 ・小学校 1,716千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別市教育研究所事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市教育研究所

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 研究所数	箇所	1	1	1	1
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

教育に関する調査、研究、資料の収集整理などを行う。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 研修会等開催回数	回	3	2	2	2
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市の教育研究の進展と充実を図る。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 研修会等参加者数	人	726	438	713	657
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	2,369	2,388	2,456	2,687
正職員人件費 (B)	千円	1,524	1,525	1,555	1,548
総事業費 (A+B)	千円	3,893	3,913	4,011	4,235

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育に関する調査、資料の収集及び教育行政の情報提供</li> <li>教育相談、研修及び関係各機関との交流</li> <li>教育研究所所報等の出版</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育研究所運営経費 2,255千円</li> <li>教職員セミナー等研修会開催経費 182千円</li> <li>家庭向けリーフレット作成経費 61千円</li> </ul>	

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：特別支援学級生活介助事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育	戦略						
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の特別支援学級の児童・生徒

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算	
対象指標 1	小中学校の特別支援学級の児童・生徒数	人	204	219	229	257
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

特別支援学級を設置している小中学校に特別支援教育支援員を配置する。又、特別支援学級の運営に必要な環境整備を行う。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算	
活動指標 1	特別支援教育支援員（特別支援学級）数	人	31	34	35	35
活動指標 2	特別支援学級教員数	人	95	100	105	102

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

一人ひとりの教育的ニーズに則した支援の実現を図る。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算	
成果指標 1	教職員（特別支援学級教員及び介助員）1人当りの特別支援学級在籍児童生徒数	人	1.62	1.63	1.64	1.88
成果指標 2						

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	48,607	49,165	51,234	55,562
正職員人件費 (B)	千円	3,047	25,932	3,110	3,871
総事業費 (A+B)	千円	51,654	75,097	54,344	59,433

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 ・特別支援教育支援員（特別支援学級）の配置 ・特別支援学級の運営等	・特別支援教育支援員（特別支援学級）報酬：46,822千円 ・特別支援学級の運営経費（消耗品費）：2,182千円 ・特別支援教育に必要な器具等の購入費：180千円

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：学校給食事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小中学校児童生徒等

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,726	8,668	8,582	8,583
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

給食センターで作った給食を専用搬送車両で市内全公立小中学校へ配送し、各学校に配置している配膳員が各クラスに配膳する。  
給食に地場産野菜を提供してくれる農家団体やJA道央と調整し、出来るだけ多くの地場産野菜を導入する。  
「江別市学校給食会運営費補助要綱」に基づき、江別市学校給食会へ補助金を支出する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	年間給食センター稼働日数	日	205	201	201	204
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

正しい食事のあり方や、望ましい食生活を身につけ、食事を通じて育成時に必要な食事を摂取（栄養バランス、量）し、健康が維持される。また、食事、給食活動を通じて、豊かな心が育成される。  
児童生徒に新鮮で安全安心な地場産野菜をたくさん使って、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより健康の増進と体位の向上に貢献する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	地場産野菜の使用率	%	42.1	37	50	50
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	242,136	246,412	252,812	265,932
正職員人件費 (B)		千円	123,412	122,032	124,400	123,856
総事業費 (A+B)		千円	365,548	368,444	377,212	389,788

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理場運営、維持管理費用</li> <li>配膳員をはじめとする給食関係職員の人件費</li> <li>給食配送や弁当箱洗浄など給食関係業務委託費</li> <li>江別市学校給食会運営費への補助金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配膳員等報酬 73,309千円</li> <li>重油代 22,438千円</li> <li>電気料 16,226千円</li> <li>水道料 13,029千円</li> <li>学校給食配送業務委託料 49,524千円</li> <li>江別市学校給食会運営費補助金 17,118千円</li> </ul>	

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：遠距離通学送迎事業

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

遠距離通学が必要な児童生徒

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	遠距離通学が必要な児童生徒数	人	112	122	113	112
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

登下校の予定時間に合わせ、委託先の会社がスクールバス及びスクールタクシーを運行し、児童生徒を送迎する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	延べ運行時間数	時間	4,047	4,178	4,600	4,400
活動指標 2	利用児童生徒数	人	112	122	113	112

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

居住する遠隔地から学校までの間を、安全に通学させる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	事故等により、スクールバスを運行できなかった便数	便	0	0	0	0
成果指標 2	事故等により、スクールタクシーを運行できなかった便数	便	0	0	0	0

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	51,232	51,852	58,200	56,050
正職員人件費 (B)		千円	3,809	3,814	3,888	3,871
総事業費 (A+B)		千円	55,041	55,666	62,088	59,921

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	スクールバス及びスクールタクシーの運行。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校 14,739千円</li> <li>・ 中学校 41,311千円</li> </ul>

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 中文連・中体連各種大会参加補助事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市中学校文化連盟（中文連）  
江別市中学校体育連盟（中体連）

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	連盟の会員数	人	3,650	3,533	3,506	3,523
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市中学校文化連盟及び江別市中学校体育連盟に対して、大会に参加するための経費の一部を補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	11,955	14,803	12,814	12,814
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

中学生の文化活動や、体育活動の振興を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	大会参加者数	人	2,800	2,857	2,857	2,684
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	11,955	14,803	12,814	12,814
正職員人件費 (B)		千円	1,524	1,525	1,555	1,548
総事業費 (A+B)		千円	13,479	16,328	14,369	14,362

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	中文連、中体連の各種大会や発表会に参加する経費の一部を補助する。 補助対象となる大会や発表会 ・中文連の吹奏楽コンクール、演劇発表会等 ・中体連の市内大会、管内大会、北海道大会、全国大会	中文連参加補助金	2,763千円 中体連参加補助金 10,051千円

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--



事業名：奨学資金貸付金

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	昭和41年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内在住の高校生

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市内在住の高校生数	人	3,787	3,722	4,027	3,864
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

高等学校への修学意欲があるにもかかわらず経済的な理由により、修学困難な高校生に修学に必要な資金の一部を貸与する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	奨学資金申請者数	人	10	9	7	12
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

修学困難な高校生に教育を受ける機会を与える。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	奨学資金貸与認定者数	人	10	9	7	12
成果指標 2	奨学資金貸与者の就学率	%	100	100	100	100

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	1,953	1,623	2,149	2,269
正職員人件費 (B)		千円	3,809	3,814	3,888	3,096
総事業費 (A+B)		千円	5,762	5,437	6,037	5,365

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	奨学金の貸与	貸付金 2,112千円	

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：教育扶助

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校児童生徒の保護者

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市内小中学校児童生徒保護者数	人	8,726	8,668	8,582	8,583
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を支給する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	就学援助認定者数	人	1,782	1,622	1,567	1,570
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

児童生徒が等しく義務教育を受けられるようにする。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	就学援助認定率	%	20.4	18.7	18.3	18.3
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	192,566	171,560	180,000	185,600
正職員人件費 (B)		千円	9,142	9,152	9,330	7,741
総事業費 (A+B)		千円	201,708	180,712	189,330	193,341

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費、医療費等を支給する。	就学援助に必要な経費 185,600千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市内私立高校助成金

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金 事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に私立高校を設置する学校法人

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市内の私立高校数	校	2	2	2	2
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市私立学校補助金交付要綱」に基づき、私立高校の特色のある教育を支援又は教材教具の充実を図るために必要な補助をする。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	6,000	6,000	6,000	6,000
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各校の建学精神に基づき個性豊かな教育活動を積極的に展開し、特色ある教育が一層促進できるようになる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	市内の中学校卒業生のうち、市内の私立高校に入学する生徒の割合	%	7	8	7	8
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	6,000	6,000	6,000	6,000
正職員人件費 (B)		千円	1,143	1,144	1,166	1,161
総事業費 (A+B)		千円	7,143	7,144	7,166	7,161

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	市内私立高校に対し助成金を支出	<ul style="list-style-type: none"> <li>特色のある教育を実施するための事業への補助金</li> <li>教材教具の整備事業への補助金</li> <li>その他教育委員会が必要と認める事業の補助金 6,000千円</li> </ul>

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：地域体験活動事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学生

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 市内小中学校児童生徒数	人	8,726	8,668	8,570	8,583
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

地域資源を活用した体験活動を子どもたちに提供する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 実施事業数	事業	3	4	3	2
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

体験活動を通して子どもの可能性を引き出すとともに、学力だけでは計れない感性・意欲・忍耐力などの育成を図る。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 事業参加者数	人	45	57	68	35
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	293	357	232	117
正職員人件費 (B)	千円	3,809	3,814	3,888	3,483
総事業費 (A+B)	千円	4,102	4,171	4,120	3,600

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 【生活体験】1泊2日の宿泊学習 【自然体験】ツリーイング体験	一般報償費 20千円 消耗品費 43千円 自然体験委託料 50千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：子ども会育成事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和36年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市子ども会育成連絡協議会（江別、野幌、大麻・文京台地区育成会）

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	子ども会の数	団体	3	3	3	3
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市子ども会育成連絡協議会が取り組む、幅広い年齢層の子どもたちへの豊かな体験活動と各地区育成会の行う活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、補助金を交付する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	878	758	737	737
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市子ども会育成連絡協議会及び各地区育成会が実施する事業への参加者数が増え、活動が活発化する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	子ども会活動への地域住民の参加延べ数	人	309	310	297	297
成果指標 2	子ども会活動の取り組み数	件	38	38	38	38

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	878	758	737	737
正職員人件費 (B)		千円	3,809	2,669	2,721	2,709
総事業費 (A+B)		千円	4,687	3,427	3,458	3,446

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生相撲大会、ドッチビー体験会、小中学生かたるた大会の開催</li> <li>青少年キャンプ村、スノーフェスティバル等への協力</li> <li>各地区育成会との連携、協力</li> <li>ジュニアリーダー養成の支援</li> <li>会議等の開催</li> <li>活動団体に対し補助金を支出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども会への補助金 737千円</li> </ul>

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：成人式開催事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和33年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成人のつどい実行委員会  
新成人

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	実行委員数	人	4	7	7	6
対象指標 2	新成人数	人	1,541	1,385	1,453	1,421

手段（事務事業の内容、やり方）

・その年度に新成人となる青年で構成する実行委員会が、自ら企画準備して「成人のつどい」を実施する。  
・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市成人のつどい実行委員会に対して、アトラクション出演謝礼、交歓会景品代など、成人のつどい開催に要する経費について補助金を交付する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	220	220	190	180
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・新成人を祝福・激励し、参加した新成人が責任ある自立した社会人として、より良い社会の創造に貢献していくことを決意し、市民として連帯感を高めることを目的に実施する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	成人のつどい参加者数	人	952	855	861	865
成果指標 2	参加率	%	61.7	61.7	59.3	60.9

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	505	492	475	437
正職員人件費 (B)		千円	2,285	2,288	2,333	2,322
総事業費 (A+B)		千円	2,790	2,780	2,808	2,759

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員の募集</li> <li>・実行委員会に対し補助金を交付</li> <li>・実行委員会の開催</li> <li>・対象者の抽出</li> <li>・案内状の作成及び発送</li> <li>・しおり及び封筒の作成</li> <li>・成人のつどい（式典・交歓会）の開催</li> </ul>	しおり印刷代	36千円
		案内状郵送料	92千円
		市民会館使用料	129千円
		実行委員会への補助	180千円

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名： 発明教室開設事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市少年少女発明クラブ

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	対象クラブ数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・小中学校への周知や市広報などを通して参加者を募集し、専任指導員の指導のもと、ものづくり教室を開講する。
- ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、発明教室を円滑に運営する江別市少年少女発明クラブに対し、補助金を支出する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	581	581	581	561
活動指標 2	開催回数	回	24	24	22	22

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・江別市少年少女発明クラブが開講する発明教室に子ども達が参加することにより、自らの手で作り上げることへの関心を高め、想像力を養い、集団活動や体験学習の経験を通して、協調性と豊かな創造性を身に付ける。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	作品展出品数	件	39	46	43	40
成果指標 2	延べ活動人数	人	356	404	462	440

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	581	581	581	561
正職員人件費 (B)		千円	2,285	2,288	2,333	1,548
総事業費 (A+B)		千円	2,866	2,869	2,914	2,109

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月から1月：製作教室</li> <li>・夏冬の作品展展示会</li> <li>・発明教室に対し補助金を支出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発明教室への補助 561千円</li> </ul>

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：青少年のための市民会議補助金

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和55年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・江別市青少年のための市民会議

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市民会議の会員数（個人）	人	190	177	180	182
対象指標 2	市民会議の会員数（団体）	団体	57	55	55	56

手段（事務事業の内容、やり方）

・江別市青少年のための市民会議が取り組む、青少年の健全育成等の啓発活動や青少年の非行防止活動及び有害環境の点検活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき活動費の一部を補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	129	129	120	120
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・江別市青少年のための市民会議が行う活動が充実し、青少年を取り巻く環境が向上していく。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	主催事業協力者数	人	86	74	72	77
成果指標 2	非行防止標語応募件数	件	2,612	1,337	464	1,471

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	129	129	120	120
正職員人件費 (B)		千円	3,809	2,288	2,333	2,322
総事業費 (A+B)		千円	3,938	2,417	2,453	2,442

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年健全育成啓発などの標語募集</li> <li>・少年の主張石狩地区大会江別代表者の選考</li> <li>・青少年善行賞の選定、表彰</li> <li>・街頭啓発の実施</li> <li>・会議等の開催</li> <li>・市民会議に対し補助金を支出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民会議への補助 120千円</li> </ul>

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名：青少年キャンプ村事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	昭和43年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市内の小学校4年生から中学校3年生の児童生徒

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標1	市内の小学校4年生から中学校3年生の児童生徒数	人	5,848	5,773	5,631	5,816
対象指標2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・自然体験事業として日常の生活から離れ、自然豊かな環境の中で青少年キャンプ村を1泊2日の日程で開催する。大学生、高校生で構成されるボランティアサークルの指導によりキャンプを行う。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標1	キャンプ村開催日数	日	4	5	5	5
活動指標2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・野外生活の楽しさを感じるとともに、異年齢との交流及び集団生活を通して、規律ある生活態度・生活技術を学び、子どもたちの協調性や社会性を高める。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標1	参加グループ数	グループ	81	75	72	76
成果指標2	青少年キャンプ村参加人数	人	419	374	334	376

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費(A)		千円	800	625	724	724
正職員人件費(B)		千円	4,571	4,576	6,609	3,483
総事業費(A+B)		千円	5,371	5,201	7,333	4,207

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	・7月下旬または8月上旬に江別市森林キャンプ場において、青少年キャンプ村を1泊2日の日程で開催する。大学生、高校生からなるボランティアサークルの指導によりキャンプを行う。	・生活指導員謝礼	336千円
		・バス借上げ料	318千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：青少年文化賞顕彰事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	昭和62年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学生以上24歳以下の市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	小学生以上24歳以下の市民	人	20,273	20,141	20,141	19,969
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

各種コンクール等において優秀な成績をおさめるなど、市内における芸術及び文化の振興に貢献した青少年に対し各賞を贈る。贈呈式は青少年スポーツ賞と共同開催している。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	審査会開催回数	回	3	3	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

創造性豊かな芸術、文化に対する意識を高める。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	受賞者数	人	25	19	21	21
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	429	327	360	360
正職員人件費 (B)		千円	762	763	778	774
総事業費 (A+B)		千円	1,191	1,090	1,138	1,134

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	・教育機関、文化団体等に対し該当事者の推薦依頼を行い、推薦があった中から表彰基準を満たしたものについて、受賞歴やコンクールの内容等を精査し、庁議において審議の上、表彰者を決定する。	・ 楯代 360千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：問題行動対策事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,726	8,668	8,570	8,583
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・専任指導員、少年育成委員を配置し巡回街頭指導等を行う。  
 ・小・中・高の生徒指導担当教員や市の子育て支援課、警察などで構成する江別市指導連絡会などにより関係機関の連携を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	巡回街頭指導実施回数	回	444	346	384	384
活動指標 2	関係機関連携会議開催回数	回	17	17	17	17

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童生徒による問題行動が発生しなくなる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	補導された小中学校児童生徒数	人	54	81	81	81
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	5,125	4,699	4,834	5,247
正職員人件費 (B)		千円	5,714	5,720	5,831	6,580
総事業費 (A+B)		千円	10,839	10,419	10,665	11,827

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	巡回街頭指導の実施 祭典巡回指導の実施 江別市指導連絡会の開催	専任指導員報酬：3,951千円 少年育成委員報酬：403千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：いじめ・不登校対策事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,726	8,668	8,570	8,583
対象指標 2	不登校児童生徒数	人	119	168	119	168

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・いじめ・不登校の専用相談窓口を開設し、専任指導員が教育相談に対応する。
- ・青年センターにスクールカウンセラーを配置し、教育相談を実施する。
- ・不登校児童生徒を対象に、すぼっとケア（学習支援）とケア事業（体験活動）を実施する。
- ・いじめ問題について、児童生徒が直接市教委へ訴える心のダイレクトメール事業を実施する。
- ・いじめ問題をテーマの一つとして中学生サミットを開催する。
- ・情報モラルの普及啓発を実施する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	いじめ・不登校相談件数	件	52	78	78	78
活動指標 2	すぼっとケア・ケア事業開催回数	回	116	122	124	124

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・いじめが解消される。
- ・不登校の児童生徒が再登校できるようになる。
- 又は、再登校には至らないものの、学校以外の社会との接点を持つなど状況が変化する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	いじめの解消率	%	100	78	78	78
成果指標 2	再登校率	%	22	14	14	14

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	5,921	5,264	5,712	6,173
正職員人件費 (B)		千円	7,237	7,246	7,386	8,902
総事業費 (A+B)		千円	13,158	12,510	13,098	15,075

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ・不登校の専用相談窓口開設</li> <li>・スクールカウンセラーによる教育相談を実施</li> <li>・不登校児童生徒を対象に、すぼっとケア（学習支援）とケア事業（体験活動）を実施</li> <li>・心のダイレクトメール事業を実施</li> <li>・中学生サミットを開催</li> <li>・情報モラルの普及啓発を実施</li> </ul>	専任指導員報酬：3,951千円

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：「心の教室」相談事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童、保護者及び教育関係者

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,726	8,668	8,570	8,583
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・相談員（カウンセリング講座修了者や教員経験者など相談業務に携わった経験者）を学校に配置し、学校生活や日常の様々な悩みや困りごとの相談に応じる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	相談員配置学校数	校	18	17	17	17
活動指標 2	延べ相談時間	時間	5,309	5,273	5,273	5,273

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童、保護者、教育関係者の悩みが軽減、解消される。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	延べ相談件数	件	18,330	18,212	18,212	18,212
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	5,481	5,383	5,622	5,604
正職員人件費 (B)		千円	1,524	1,525	1,555	1,548
総事業費 (A+B)		千円	7,005	6,908	7,177	7,152

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	・小学校17校に心の教室相談員を配置し、児童、保護者、教育関係者の悩みや相談に対応	心の教室相談員報酬：5,557千円

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：地域一体型学校の顔づくり事業

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内市立小・中学校

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市内市立小・中学校数	校	26	25	25	25
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「特色のある学校」、「開かれた学校」づくりを進めるため、事業を行う小中学校に対し、事業費の一部を支援する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	事業実践項目数	項目	39	38	38	38
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

家庭・地域が一体となって事業を展開し「特色のある学校」、「開かれた学校」づくりを進めることにより、教育の充実を図ることができるようになる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	地域住民等の事業への参加人数	人	7,097	6,951	6,200	7,600
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	3,338	3,265	3,223	2,966
正職員人件費 (B)		千円	1,905	1,907	1,944	1,935
総事業費 (A+B)		千円	5,243	5,172	5,167	4,901

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	各学校の事業に要する経費の一部を学校配分予算として支出。	・ 講師の謝礼等	554千円
		・ 消耗品購入費	1,716千円

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：スクールカウンセラー事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,726	8,668	8,570	8,583
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・小中学校にカウンセラー（臨床心理士等）を配置し、対象校の児童生徒をカウンセリングの対象として相談業務にあたる（報酬は北海道負担）。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	配置学校数	校	9	9	9	9
活動指標 2	延べ相談時間	時間	1,098	1,178	780	760

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童生徒、保護者、教育関係者の悩みが軽減、解消される。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	延べ相談件数	件	1,454	1,332	900	900
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	5	58	45	27
正職員人件費 (B)		千円	1,524	1,525	1,555	1,548
総事業費 (A+B)		千円	1,529	1,583	1,600	1,575

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	中学校 8校、小学校 1校にスクールカウンセラーを配置し相談業務にあたる。	配置校消耗品費：27千円

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：社会人による教育活動等支援事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校の児童生徒

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 小中学校児童生徒数	人	8,726	8,668	8,570	8,583
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

教育活動の講師として、文化・芸術など多岐にわたる分野から、幅広い専門的知識等を有する社会人を活用するための費用を負担する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 社会人を活用した授業を申請した学校数	校	9	11	12	25
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

社会人を活用した教育活動を実施する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 社会人を活用した授業を実施した学校数	校	9	11	12	25
成果指標 2 社会人を活用した授業を実施した回数	回	14	14	23	25

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	471	404	585	560
正職員人件費 (B)	千円	762	763	778	774
総事業費 (A+B)	千円	1,233	1,167	1,363	1,334

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 文化・芸術・体育・仕事など多岐にわたる分野から、幅広い専門的知識等を有する社会人を教育活動の講師として活用するための支援を行う。	報償費 560千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名：特別支援教育推進事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	小中学校の通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒数	人	506	570	570	654
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

特別支援教育支援員（通常学級）の配置、専門家チームの巡回相談等による学校や保護者への助言、研修会の開催による教員等の能力向上、その他環境整備等を通じて支援を行う。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	巡回相談等実施回数	回	175	191	175	175
活動指標 2	特別支援教育支援員（通常学級）の配置数	人	31	33	35	35

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

教員が児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて長期目標・短期目標を盛り込んだ個別の教育計画に沿って、適切な教育を行うことにより、対象児童生徒が生活や学習上の困難を改善・克服する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	通常学級で個別の教育支援計画を作成している学校の割合	%	66.7	83.3	100	100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	47,482	38,467	36,167	38,283
正職員人件費 (B)		千円	7,237	7,246	7,386	8,128
総事業費 (A+B)		千円	54,719	45,713	43,553	46,411

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育支援員（通常学級）の配置</li> <li>特別支援教育専門家チームの経費</li> <li>特別支援教育に係る設備整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育支援員（通常学級）等の報酬：35,904千円</li> <li>巡回相談員の謝礼等：489千円</li> <li>設備整備工事：550千円</li> </ul>	

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：キャリア教育推進事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立中学校の生徒

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市内公立中学校の生徒数	人	3,091	2,978	2,963	2,921
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

連続2日間、生徒が事業所において職場体験する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	職場体験受け入れ事業所数	所	112	121	123	120
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

自己の進路や職業観を養う。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	キャリア教育参加生徒数	人	823	849	749	779
成果指標 2	自分の進路や将来の生き方を考えるきっかけとなった生徒の割合	%	79	78	77	78

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	557	661	679	626
正職員人件費 (B)		千円	3,809	3,814	3,888	3,096
総事業費 (A+B)		千円	4,366	4,475	4,567	3,722

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	公立中学校の生徒が事業所において連続する2日間の職場体験を行う。	・ マナー研修等経費	154千円
		・ 職場体験実施に係る経費	472千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：学校給食食器更新事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小中学校児童生徒等

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,726	8,668	8,582	8,583
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市学校給食用食器検討委員会において、安心して提供できる学校給食用食器の選定について検討する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	食器更新・追加数	個	3,344	17,986	3,000	4,100
活動指標 2	検討委員会開催数	回	4	0	1	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

安全、安心な食器で喫食することにより、楽しく食事し、豊かな心が育つ。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	食器破損率	%	6.63	6.02	6	6
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	1,524	1,144	389	387
総事業費 (A+B)		千円	1,524	1,144	389	387

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	安全、安心な食器を提供するため、破損した食器の補充管理、食器についての情報収集を行う。	人件費事業

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：小中学校学習サポート事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育	戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実	具体的施策	(2) 教育内容の充実					
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の児童生徒

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,726	8,668	8,570	8,583
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

放課後の学習支援や、複数の教員が役割を分担し協力し合いながら指導する「チーム・ティーチング」などの学校支援を行う学習サポート教員（教員資格者）や、書写やミシンなど、教科指導以外の学校支援を行う学校支援地域ボランティアを募集し、市内小中学校（全25校）に派遣する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 学習サポート教員の登録人数	人	38	37	37	34
活動指標 2 学校支援地域ボランティアの登録人数	人	72	53	53	48

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校における、多様な学習機会を提供する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 学習サポート教員の年間派遣回数	回	3,625	3,452	3,470	3,470
成果指標 2 学校支援地域ボランティアの年間派遣回数	回	431	477	421	459

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	9,282	8,896	8,939	9,223
正職員人件費 (B)	千円	3,809	3,814	3,888	3,096
総事業費 (A+B)	千円	13,091	12,710	12,827	12,319

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 ・市内小中学校の全校に学習サポート教員及び学校支援地域ボランティアを派遣する。 ・一校あたり学習サポート教員を平均139回、学校支援ボランティアを平均18回派遣する。	・学習サポート教員派遣経費 6,967千円 ・コーディネーター報酬等 1,976千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：子どものための読書環境整備事業 情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の子どもとボランティア

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 市内小中学校数	校	26	25	25	25
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

・司書教諭等と連携して多様な読書活動を企画・実施し、学校図書館サービスの改善・充実を図るため、市内小・中学校を巡回する司書と支援司書を配置する。  
 ・児童生徒の自ら学ぼうとする意欲を喚起し、学力の向上を後押しするため、児童生徒の朝読書や調べ学習、総合的な学習の時間などの学校が行う教育活動を支援する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 司書巡回学校数	校	6	6	7	7
活動指標 2 司書短期間支援学校数	校	9	12	16	16

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童生徒が発達の段階に応じて読書の楽しさを知り、読書の幅が広がり、読書体験が深まるようになる。  
 ・児童生徒が読書活動を通じて生涯にわたり絶えず自発的に学ぼうとする意欲や習慣が身に付くようになる。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 司書巡回によって増加した貸出冊数	冊	3,058	959	1,200	1,200
成果指標 2 司書巡回期間のボランティア活動回数	回	33	24	7	7

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	5,571	5,885	5,954	8,246
正職員人件費 (B)	千円	4,571	4,576	4,665	4,645
総事業費 (A+B)	千円	10,142	10,461	10,619	12,891

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 ・学校図書館の環境整備への支援 ・司書による学習支援 ・司書と学校図書館ボランティアとの協働による支援	・会計年度任用職員報酬等（巡回司書3名、支援司書1名） 8,001千円 ・団体貸出用図書、朝読書、調べ学習用図書購入費 100千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：食育推進事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小中学校児童生徒等

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,726	8,668	8,582	8,583
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市学校給食食育運営委員会において取りまとめた「江別市の公立小中学校における食育の推進」により示した方向性に従い、学校が進める食育に関する活動及び事業に対して、必要な指導、援助を行う。  
 栄養教諭が、学校教育課程の中で「食に関する指導」を行う。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	運営委員会開催数	回	0	0	0	0
活動指標 2	栄養教諭による「食に関する指導」実施学級数	学級	310	313	330	330

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

食事の重要性を理解し、食事の自己管理能力や食品を選択する能力を身に付けることによって、豊かで健全な食生活を実践することができる人間が育つ。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	朝食を食べて学校に通う児童・生徒の割合	%	86.4	83.5	85	85
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	381	1,525	1,555	1,548
総事業費 (A+B)		千円	381	1,525	1,555	1,548

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	栄養教諭が学校教育課程の中で「食に関する指導」を行う。	人件費事業

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：児童生徒体力向上事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の児童生徒

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,726	8,668	8,570	8,583
対象指標 2	モデル校の児童数	人	154	177	166	184

手段（事務事業の内容、やり方）

体力向上に係る実践研究を行っている北翔大学の協力のもと、近隣に位置する文京台小学校をモデル校に指定し、教授と学生が学校を訪問のうえ、朝の時間を利用して「朝運動プログラム」を実施する。また、モデル校以外で体力向上の取組が広がるよう、朝運動プログラムの普及出前授業（年5校予定）を実施する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	体力向上に取り組んだ回数（モデル校及び普及出前授業実施校）	回	31	34	35	35
活動指標 2	「朝運動プログラム」を実践した児童数	人	90	246	378	255

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

体を動かすことを楽しいと感じてもらうとともに、児童生徒の体力向上を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	児童生徒で体力が向上した割合（モデル校）	%	83	92	86	86
成果指標 2	体を動かすことが楽しいと感じている児童の割合（モデル校及び普及出前授業実施校）	%	99	96	97	97

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	635	635	665	648
正職員人件費 (B)		千円	2,285	2,288	2,333	1,548
総事業費 (A+B)		千円	2,920	2,923	2,998	2,196

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校1校をモデル校とし、基礎的な動きを組み入れた運動を継続的に行える体力向上のための取組を行い、その効果と検証を行う。</li> <li>江別市体力向上「朝運動プログラム」事業普及のための出前講座を市内小学校（5校）にて行う。</li> </ul>	北翔大学への委託料 648千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：特別支援教育就学奨励費

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校特別支援学級及び通級指導教室に通学する児童生徒の保護者

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	小中学校特別支援学級及び市内小学校通級指導教室に通学する児童生徒の保護者	人	307	350	360	391
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

特別支援教育就学奨励費が必要な保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費、通学費等を支給する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	特別支援教育就学奨励費認定者数	人	208	217	204	233
活動指標 2	通学費認定者数	人	146	153	170	182

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

経済的な理由で児童生徒の就学に必要な経費を捻出することが困難な保護者を助成することにより、児童生徒が等しく義務教育を受けられるようにする。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	特別支援教育就学奨励費認定率	%	67.8	62	57	60
成果指標 2	通学費認定率	%	47.6	43.7	47	47

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	5,595	5,695	6,820	8,629
正職員人件費 (B)		千円	3,048	3,051	3,110	4,645
総事業費 (A+B)		千円	8,643	8,746	9,930	13,274

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	通学費、給食費、修学旅行費、学用品費等の一部補助 ※「要保護児童生徒援助補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金要綱」に基づき、支出の2分の1が補助される。	通学費、給食費、修学旅行費、学用品費等の一部補助 小学校：5,442千円 中学校：3,187千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名：スクールソーシャルワーカー事業 教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり			
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策	(2) 教育内容の充実			
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,726	8,668	8,570	8,583
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・問題を抱える児童生徒の置かれている環境への働きかけ  
 ・学校や関係機関との連携や調整  
 ・保護者や学校等に向けて、予防的な情報提供、相談支援

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	スクールソーシャルワーカー配置人数	人	2	3	3	3
活動指標 2	延べ相談支援件数	件	1,201	1,165	1,165	1,165

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童生徒、保護者の抱える問題が解決される。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	支援ケース件数	件	99	136	136	136
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	4,500	6,751	6,833	7,459
正職員人件費 (B)		千円	1,524	1,525	1,555	3,096
総事業費 (A+B)		千円	6,024	8,276	8,388	10,555

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	スクールソーシャルワーカーが、教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門的な知識や経験を用いて、問題を抱える児童生徒に対して相談支援を行う。	スクールソーシャルワーカー報酬：6,506千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 中文連・中体連負担金補助事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市中学校文化連盟（中文連）  
江別市中学校体育連盟（中体連）

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	連盟の会員数	人	3,650	3,533	3,506	3,523
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、市内中文連、中体連に対し、必要経費の一部を補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,351	1,307	1,304	1,304
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各種大会を実行するための中文連・中体連の組織の健全な運営を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	中文連・中体連大会開催数	回	14	14	16	15
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	1,351	1,307	1,304	1,304
正職員人件費 (B)		千円	762	763	778	774
総事業費 (A+B)		千円	2,113	2,070	2,082	2,078

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	市内中文連、中体連が負担する石狩管内中学校文化連盟の負担金及び石狩管内中学校体育連盟の負担金を補助する。	市内中学校文化連盟負担金	352千円 市内中学校体育連盟負担金 952千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：小中学校外国語教育支援事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり			
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策	(2) 教育内容の充実			
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小・中学校の児童生徒

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,726	8,668	8,570	8,583
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内公立小中学校に、外国語の授業を支援する外国語指導助手（10名）を派遣する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	外国語指導助手が入った授業の年間時数	時数	5,444	6,244	6,200	5,963
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

諸外国の生活や文化等について理解を深め、児童生徒のコミュニケーションに関する関心を高める。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	外国語指導助手との外国語の授業を楽しいと考える児童生徒の割合	%	83	87	83	84
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	27,443	34,128	34,929	34,953
正職員人件費 (B)		千円	6,856	6,864	6,998	6,193
総事業費 (A+B)		千円	34,299	40,992	41,927	41,146

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の授業において、複数の教員が役割を分担しながら指導する「チーム・ティーチング」などの学習支援を行う。</li> <li>・長期休業中（夏季及び冬季）における外国語活動の実施。</li> </ul>	外国語指導助手報酬 33,300千円

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：コミュニティ・スクール事業

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内市立小・中学校

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市内市立小・中学校数	校	26	25	25	25
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

全小中学校の学校運営委員会委員に報酬を支給するとともに、各学校運営委員会を支援する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	コミュニティ・スクール設置校	校	26	25	25	25
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校・地域・家庭が、目指す子ども像を共有し、一体となって子どもを育てる持続可能な仕組みを持った学校づくりを行う。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	学校運営委員会開催回数	回	76	75	75	75
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	1,581	1,757	1,970	1,679
正職員人件費 (B)		千円	3,809	3,814	3,888	3,871
総事業費 (A+B)		千円	5,390	5,571	5,858	5,550

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	学校運営委員会を運営するための経費	・ 学校運営委員会委員報酬	1,134千円
		・ 市外研修旅費	45千円
		・ 広報活動費等諸経費	500千円

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：医療的ケア児支援事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育	戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実	具体的施策	(2) 教育内容の充実					
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小中学校において医療的ケアの対象となる児童生徒

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	小中学校において医療的ケアの対象となる児童生徒	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

学校に看護師を配置し、医療的ケアを必要とする児童生徒への支援を行う。また、医療的ケア運営協議会において実施に関する協議を行い、支援に当たっては安全かつ適正に医療的ケアを実施する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	学校看護師数	人	0	0	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

医療的ケアを必要とする児童生徒が小中学校に就学できる実施体制の充実を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	学校において医療的ケアを実施した人数	人	0	0	0	0
成果指標 2	学校における医療的ケア児の受入れ可能人数	人	0	0	2	2

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	811	265
正職員人件費 (B)		千円	0	0	24,103	23,997
総事業費 (A+B)		千円	0	0	24,914	24,262

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校看護師の配置</li> <li>医療的ケア運営協議会の運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケア運営協議会委員への謝礼：209千円</li> </ul>	

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：北海道中学校バレーボール大会補助金 学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	令和 2年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

北海道中学校バレーボール大会事務局

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	事務局数	箇所	0	0	0	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、北海道中学校バレーボール大会事務局に対して、必要経費の一部を補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	0	0	0	350
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

中学校体育活動の振興を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	大会参加者数	人	0	0	0	740
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	350
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	774
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	1,124

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	中学校バレーボール大会の全道大会が当市で開催されるにあたり、その運営に係る経費を補助する。 ・開催期間 令和2年7月29日～31日（予定） ・開催場所 江別市民体育館 他	北海道中学校バレーボール大会事務局への補助金 350千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	中学生の体育活動の振興を図るため、全道市町村が持ち回りで中体連バレーボール大会を実施する。

事業名：小中学校ICT環境整備事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	令和 2年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の教職員

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	小中学校教職員数	人	0	0	0	609
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

業務の円滑化及び情報セキュリティの確保を図るため、教職員 1 人につき 1 台、校務用コンピュータを配備するなど、市内公立小中学校における ICT 環境を整備する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	校務用コンピュータ配備台数	台	0	0	0	627
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

教職員における校務の効率化を図るため、市内公立小中学校に校務支援システムを導入する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	校務支援システム導入校数	校	0	0	0	25
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	38,068
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	4,645
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	42,713

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	・業務の円滑化を図るため、教職員 1 人につき 1 台、校務用コンピュータを配備する。 ・教職員における校務の効率化を図るため、校務支援システムを導入する。	・校務支援システム利用料等	8,229千円
		・校務用コンピュータ等償還金	18,782千円
		・ICT環境維持管理経費	8,784千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	校務の効率化により教職員の働き方改革を推進するとともに、労働安全衛生法に基づき、客観的な方法で教職員の労働時間を把握するため、校務支援システムを市内公立小中学校に導入する。

事業名：公民館管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略			
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策			
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公民館

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 施設数	施設	3	3	3	3
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 指定管理料	千円	89,466	90,501	91,082	93,685
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、地域に密着した社会教育の中心施設となる。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 利用者数	人	228,889	219,932	218,500	222,400
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	92,507	93,065	93,582	95,875
正職員人件費 (B)	千円	1,905	1,907	1,944	1,935
総事業費 (A+B)	千円	94,412	94,972	95,526	97,810

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 ・指定管理協定の締結 ・施設及び物品の修繕	指定管理料 93,685千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名：図書館運営管理事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

情報図書館

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 施設数	施設	3	3	3	3
対象指標 2 施設数（学校図書館地域開放事業）	施設	2	2	2	2

手段（事務事業の内容、やり方）

情報図書館の運営管理に要する経費

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 年間開館日数（全館）	日	287	291	292	291
活動指標 2 運営・維持管理経費	千円	71,702	71,371	74,310	83,258

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・利用者が図書館を安全・快適に利用できる。
- ・施設が適切に運営管理される。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 年間資料貸出利用者数	人	191,690	191,683	183,000	183,000
成果指標 2 年間資料貸出冊数	冊	794,284	810,832	760,000	760,000

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	71,702	71,371	74,310	83,258
正職員人件費 (B)	千円	30,472	30,508	31,100	32,899
総事業費 (A+B)	千円	102,174	101,879	105,410	116,157

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 ・情報図書館の管理運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計年度任用職員報酬等 49,530千円</li> <li>・燃料費・光熱水費 9,416千円</li> <li>・清掃等施設管理委託料 19,830千円</li> </ul>

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：図書館資料整備事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化	戦略	
取組の基本方針	01 生涯学習の充実	具体的施策	
開始年度	—	終了年度	—
		区分1	継続
		区分2	単独
			補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民及び市内に通勤・通学している人

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 市民	人	118,979	118,971	118,971	119,510
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・図書館で作成した収集方針に沿って資料を収集する。
- ・月1回選書会議を行い購入する図書を選定する。
- ・相互貸借により資料を提供し補完する（道立図書館・全国公共図書館・道内外の大学図書館等）。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 資料購入冊数	冊	10,678	10,592	10,500	10,000
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

時代の趨勢や地域性を常に意識し、幅広いニーズに応えられるような資料の収集と提供を図ることにより、図書資料等に対する市民の関心が高まり、より多くの市民が図書資料等を利用するようになる。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 市民一人当たりの貸出冊数	冊	6.7	6.8	6.4	6.4
成果指標 2 予約及びリクエスト件数	件	95,744	110,803	110,000	110,000

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	22,138	21,998	21,800	20,500
正職員人件費 (B)	千円	3,428	3,432	3,499	3,483
総事業費 (A+B)	千円	25,566	25,430	25,299	23,983

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 図書館の運営に必要な図書・雑誌・視聴覚資料等の整備に係る経費	雑誌・新聞・その他逐次刊行物等購入費 3,500千円 図書資料購入費 17,000千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：旧町村農場管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

旧町村農場

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	7,486	7,486	7,552	8,351
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、江別市における酪農の歴史を伝える場となる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	来場者数	人	6,011	6,503	8,420	6,900
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	7,686	8,098	7,861	8,631
正職員人件費 (B)		千円	1,524	1,525	1,555	1,548
総事業費 (A+B)		千円	9,210	9,623	9,416	10,179

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理協定の締結</li> <li>施設の修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料 8,351千円</li> </ul>

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：情報図書館コンピュータ学習室事業 情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化	戦略	
取組の基本方針	01 生涯学習の充実	具体的施策	
開始年度	—	終了年度	—
		区分1	継続
		区分2	単独
			補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

20歳以上の市民

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 20歳以上の市民	人	99,412	99,505	99,505	100,008
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・初心者パソコン教室等の開催
- ・インターネット体験のためのコンピュータ学習室開放の実施（毎月第1・第3土、日曜日）

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 各種パソコン講習会開催数	回	30	27	33	35
活動指標 2 インターネット体験の実施日数	日	46	44	27	46

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

パソコン教室等の実施により、パソコンに慣れ親しみ、パソコンを情報収集や伝達などに利用できる市民が増える。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 各種パソコン教室受講者数	人	186	176	200	190
成果指標 2 コンピュータ学習室利用者数(延べ利用者数)	人	2,616	2,338	2,000	2,000

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	356	291	360	1,003
正職員人件費 (B)	千円	4,190	4,195	4,276	4,258
総事業費 (A+B)	千円	4,546	4,486	4,636	5,261

事業内容（主なもの）	回数	費用内訳（主なもの）	費用
初心者パソコン教室	22回	パソコンボランティア謝礼	69千円
EPOC講習会	12回	初心者パソコン教室講師派遣委託料	660千円
初めてのパソコン講習会	1回	EPOC講習会講師派遣委託料	60千円
		コンテンツフィルタリング保守費	139千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：情報図書館展示室事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市民	人	118,979	118,971	118,971	119,510
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

展示室で、普段目に触れる機会の少ない図書資料などの展示会を企画する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	展示会開催数	回	4	4	3	4
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

展示会を開催することにより、図書館への関心が高まり、より多くの市民が図書館に足を運ぶようになる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	展示室入場者数	人	1,734	1,256	1,570	1,500
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	143	115	56	54
正職員人件費 (B)		千円	2,285	2,288	2,333	2,322
総事業費 (A+B)		千円	2,428	2,403	2,389	2,376

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	展示会の開催 「星のおはなし展」 「しかけ絵本と大型絵本展」 「土曜ひろば作品展」他	・ 展示会講師謝礼 ・ 展示会用消耗品費	40千円 14千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：蒼樹大学事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

65歳以上の市民

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 65歳以上の市民	人	34,645	35,415	35,415	36,162
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

高齢者の学習機会として、蒼樹大学を開催する。  
5～3月に毎月1、2回学習会開催

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 講座開催数	回	62	54	61	61
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

高齢者一人ひとりが生きがいを見出し、地域社会で生かすことのできる知識や技術を獲得する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 学生数	人	134	145	162	162
成果指標 2 出席率	%	80	82	84	82

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	638	536	618	501
正職員人件費 (B)	千円	1,905	1,907	1,944	1,935
総事業費 (A+B)	千円	2,543	2,443	2,562	2,436

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 ・午前は現代的課題や歴史等を全体で学ぶ教養講座、午後は選択制の専攻講座（コーラス、太極拳、園芸、ふるさと学、絵手紙、体操）を実施。	蒼樹大学開催に係る費用 501千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：情報図書館視聴覚ライブラリー事業 情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略			
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策			
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

学校、社会教育関係団体等および市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市民	人	118,979	118,971	118,971	119,510
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・プロジェクターなどの機器は、学校や社会教育関係団体等からの申請により貸出しする。
- ・ビデオソフトなどの教材は、個人へも貸出しする。
- ・視聴覚教育に必要な機器と教材の充実を図るとともに、図書館ウェブサイトなどにより周知を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	ライブラリー機器の数	点	19	20	20	20
活動指標 2	ライブラリー教材の数	点	2,064	2,067	2,092	2,092

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・学校や社会教育関係団体等が視聴覚教材を学習の補助教材として活用することにより、学校の教育活動の充実と市民の社会教育活動の振興が図られる。
- ・より多くの市民が、自ら関心のある事柄について学習するようになる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	利用者数	人	3,532	3,250	2,700	2,700
成果指標 2	貸出件数	回	3,406	3,151	2,600	2,600

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	670	575	435	397
正職員人件費 (B)		千円	2,285	2,288	2,333	2,322
総事業費 (A+B)		千円	2,955	2,863	2,768	2,719

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育関係団体等への視聴覚機器の貸出</li> <li>・個人への教材の貸出</li> <li>・教材用DVDの購入</li> <li>・ビデオ上映会の実施</li> </ul>	貸出用教材購入費	304千円
		著作権（上映権）使用料	66千円

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：読書普及活動事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 市民	人	118,979	118,971	118,971	119,510
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

読書普及に向けたおはなし会、講演会などを開催する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 図書館主催おはなし会など開催回数	回	327	319	322	327
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・おはなし会を通して、幼児・児童の読書に対する興味が喚起される。
- ・おはなし会や人形劇などを行うボランティア団体の活動が活性化される。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 読書普及事業の参加人数	人	3,558	3,420	3,671	3,700
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	385	370	381	369
正職員人件費 (B)	千円	2,285	2,288	2,333	2,322
総事業費 (A+B)	千円	2,670	2,658	2,714	2,691

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 本館及び分館でのおはなし会などの開催	おはなし会講師謝礼 324千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名：青少年ふれあい交流促進事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の基本方針	01 生涯学習の充実		具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

社会教育の振興・発展を目的とし、児童・生徒の健全育成と幅広い世代間交流を目指す市内の団体及び地域団体等。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	地域交流活動補助対象事業数	団体	18	16	18	18
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

社会教育事業や音楽文化事業に対し、「江別市教育振興事業補助金規則」に基づき事業費の一部を支援する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	860	734	738	800
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各団体等が独立して活動を行うことにより、社会教育の充実が促進される。また団体が地域と協働で活動することにより、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	6,780	5,346	7,876	8,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	860	734	800	800
正職員人件費 (B)		千円	762	763	778	774
総事業費 (A+B)		千円	1,622	1,497	1,578	1,574

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	社会教育の振興及び地域活動団体の育成・促進を目的とする市内の団体などが、学校や地域と連携して自主的に企画・運営する青少年健全育成事業及び青少年音楽振興事業等に対し「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき事業費の一部を支援する。	青少年ふれあい交流促進事業補助金 800千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：えべつ市民カレッジ（四大学等連携生涯学習講座）事業 生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

高校生以上の市民

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 高校生以上の市民	人	104,414	104,568	104,568	104,992
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・市内4大学との共催で行う連携講座「ふるさと江別塾」の開催。
- ・市内4大学や社会教育関係団体が主催する市民向け講座と連携し、市主催の講座を含めて「えべつ市民カレッジ」として位置付け総合的に学ぶ機会を提供する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 連携団体数	団体	6	6	6	6
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

知的資源を有する市内4大学等と連携し、様々な市民の学習要求に応えることにより、学習・文化活動・スポーツを気軽にできる環境をつくとともに、まちづくりの身近な地域課題に対する気づきの機会も提供されている。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 えべつ市民カレッジ講座数	講座	155	191	208	200
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	1,208	194	196	183
正職員人件費 (B)	千円	2,666	2,669	2,721	2,709
総事業費 (A+B)	千円	3,874	2,863	2,917	2,892

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内4大学と連携を図りながら、各大学を会場とした「ふるさと江別塾」を開催する。</li> <li>・ふるさと江別塾に加え、各大学等で開催している市民公開講座、市主催講座、社会教育関係団体主催講座と連携し、それらの講座をえべつ市民カレッジとして位置付け、総合的に市民へ情報提供する。</li> <li>・受講履歴を記録できるカレッジ手帳により、受講単位に応じ称号を授与する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと江別塾開催に係る経費 140千円</li> <li>・えべつ市民カレッジ受講シール、称号授与に係る経費 43千円</li> </ul>

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	・学位の最高位である「博士」の学位取得後においても、受講者のさらなる参加意欲向上を図るため、「学長奨励賞」を新設する。

事業名：コミュニティセンター管理運営事業 生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略			
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策			
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

コミュニティセンター

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 指定管理料	千円	16,537	16,593	16,670	17,080
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、市民相互のふれあいのなかで地域経済活動の促進を図り、地域づくりの拠点となる。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 利用者数	人	176,663	94,709	142,500	150,000
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	16,537	16,593	16,670	17,080
正職員人件費 (B)	千円	1,143	1,144	1,166	1,161
総事業費 (A+B)	千円	17,680	17,737	17,836	18,241

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 ・指定管理協定の締結	・指定管理料 17,080千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：社会教育団体支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化		戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実		具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市女性団体協議会、江別市PTA連合会、江別市聚楽学園、江別市生涯学習推進協議会

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	補助団体数	団体	4	4	4	4
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、「江別市女性団体協議会」「江別市PTA連合会」「江別市聚楽学園」「江別市生涯学習推進協議会」へ補助金を交付する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	2,538	2,638	2,538	2,538
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

それぞれの団体が独立して活動を行うことで、社会教育活動が活性化する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	2,635	2,986	2,700	2,700
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	2,538	2,638	2,538	2,538
正職員人件費 (B)		千円	3,429	3,432	4,665	4,645
総事業費 (A+B)		千円	5,967	6,070	7,203	7,183

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	「江別市女性団体協議会」「江別市PTA連合会」「江別市生涯学習推進協議会」「江別市聚楽学園」への補助金交付	・ 江別市女性団体協議会への補助金 400千円 ・ 江別市PTA連合会への補助金 368千円 ・ 江別市生涯学習推進協議会への補助金 1,000千円 ・ 江別市聚楽学園への補助金 770千円	

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：家庭教育支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略			
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策			
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

子育て中の保護者、一般市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	小中学校の家庭数	件	7,356	7,169	7,093	7,093
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・市P連と協力して情報モラル講演会の実施
- ・家庭教育支援事業（えべ育カフェ）の開催
- ・家庭教育ナビゲーターの養成

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	事業開催数	回	4	1	4	4
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

子育て中の保護者の悩みや不安の軽減に繋がる支援を行う

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	269	174	220	220
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	353	39	267	162
正職員人件費 (B)		千円	1,524	763	1,555	1,548
総事業費 (A+B)		千円	1,877	802	1,822	1,710

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者向け講演会の開催</li> <li>・江別市家庭問題研究会の活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会講師料 35千円</li> <li>・えべ育カフェ開催謝礼 60千円</li> </ul>	

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市民交流施設関連経費（情報図書館）

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民及び市内に通勤・通学している人

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市民	人	0	0	118,971	119,510
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市民交流施設で、図書館資料の貸出・返却業務などを行う。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	業務日数	日	0	0	80	307
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

利用者の利便性を高め、図書館利用数を増加させる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	年間資料貸出利用者数	人	0	0	880	3,370
成果指標 2	年間資料貸出冊数	冊	0	0	1,680	6,440

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	2,830	2,010
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	774
総事業費 (A+B)		千円	0	0	2,830	2,784

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	予約図書貸出・返却業務に要する経費	図書館業務委託料	2,010千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： ガラス工芸館管理運営経費

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策				
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・ガラス工芸館
- ・ガラス工芸家

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	敷地面積	㎡	1,024.39	1,024.39	1,024.39	1,024.39
対象指標 2	延床面積	㎡	242.72	242.72	242.72	242.72

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・施設の管理運営
- ・ガラス工芸家の創作活動公開への対応

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	開館日数	日	59	39	62	61
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

創作活動及び作品鑑賞の場として公開することにより、創作工芸の分野における文化の振興に資する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	来館者数	人	1,334	736	1,365	1,480
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	2,614	2,046	2,225	2,030
正職員人件費 (B)		千円	762	763	778	774
総事業費 (A+B)		千円	3,376	2,809	3,003	2,804

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	ガラス工芸館の管理運営	管理運営費 2,030千円	

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：セラミックアートセンター企画展開催事業 セラミックアートセンター

政策	07 生涯学習・文化		戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造		具体的施策				
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 市民	人	118,979	118,971	118,971	119,510
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

・「れんがとやきものまち・江別」を市民間に共有のイメージとして意識してもらうこと、また芸術・文化に触れて市民生活を豊かにしていくために、地元江別をはじめ、道内外の優れた陶芸作品や芸術作品等の企画展を開催し、市民に芸術・文化の鑑賞の場を提供する。  
 ・市内関係機関や道内外の美術館・博物館などにポスターやチラシ等を頒布し、周知する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 企画展開催数	回	2	4	4	3
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・多くの市民（来館者）に観覧してもらうことで、「れんがとやきものまち・江別」のイメージをより広く共有し、市民の文化意識の高揚を図る。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 企画展入場者数	人	1,282	5,604	4,500	3,100
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	470	3,365	9,982	6,709
正職員人件費 (B)	千円	11,427	11,441	11,663	6,193
総事業費 (A+B)	千円	11,897	14,806	21,645	12,902

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 市町村立美術館活性化事業「瀬戸焼 受け継がれる千年の技と美」展ほか計3回の企画展を開催	・市町村立美術館活性化事業「瀬戸焼 受け継がれる千年の技と美」展開催経費 6,416千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
その他	一財）地域創造の助成による市町村立美術館活性化事業を活用し、一般財源の圧縮に努める。



事業名：セラミックアートセンター管理運営経費 セラミックアートセンター

政策	07 生涯学習・文化		戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造		具体的施策					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

セラミックアートセンター

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・セラミックアートセンターの管理運営に要する経費。
- ・小森忍、道内作家作品及びれんが資料の収集、展示。
- ・陶芸を中心とした展覧会の開催、各種陶芸教室・講座等の適正な管理運営。工房、窯等の貸出し。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 開館日数	日	300	299	305	301
活動指標 2 運営・維持管理経費	千円	39,315	39,243	40,584	39,781

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・快適かつ安全に利用してもらう。
- ・多くの市民に利用してもらうことで、「れんがとやきものまち・江別」のイメージの共有を図る。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 利用者数	人	24,647	24,635	24,500	24,000
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	39,315	39,243	40,584	39,781
正職員人件費 (B)	千円	6,856	6,864	7,775	7,741
総事業費 (A+B)	千円	46,171	46,107	48,359	47,522

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 ・セラミックアートセンターの維持管理 ・小森忍、道内作家作品及びれんが資料の収集、展示	・非常勤職員報酬 3,446千円 ・暖房用重油代等燃料費 3,350千円 ・電気代等光熱水費 5,271千円 ・維持管理関係委託料 25,148千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：子どもの文化活動育成事業（土曜広場）

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化		戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造		具体的施策				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

子どもの文化活動育成事業「土曜広場」推進委員会

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	推進委員数	人	14	12	12	12
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

子どもの文化活動育成事業「土曜広場」推進委員会に補助金を交付する。  
◎江別市教育振興事業補助金交付規則

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	900	900	900	900
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

推進委員会が、地域資源となる地域に在住する伝統的文化活動等の指導者の方々の協力を得て、土曜広場を提供することで、子どもたちの日本文化に対する理解を深め、文化芸術活動を拡充する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	開催学校数	校	17	17	16	17
成果指標 2	参加者数	人	780	871	770	820

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	900	900	900	900
正職員人件費 (B)		千円	1,905	1,907	1,944	1,935
総事業費 (A+B)		千円	2,805	2,807	2,844	2,835

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが土曜日をより良く過ごすよう、地域の専門的な指導者及び運営に係るボランティアの協力によって、市内各小学校の施設を活用し、普段学校で学ぶことの少ない日本の伝統的文化活動を体験・学習する機会を提供する。</li> <li>市内小学校17か所、月2回土曜日午前中（10回程度/校）</li> <li>活動種目 囲碁・茶道・手芸・百人一首など25種類程度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金 900千円</li> </ul>

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市民文化ホール管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策				
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民文化ホール

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 指定管理料	千円	50,388	50,559	51,403	52,557
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、市民の芸術文化活動の発展を図り、心豊かなまちづくりに寄与する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 利用者数	人	53,146	63,473	60,000	47,000
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	50,485	50,559	51,503	337,547
正職員人件費 (B)	千円	1,143	1,144	1,166	2,322
総事業費 (A+B)	千円	51,628	51,703	52,669	339,869

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 ・指定管理協定の締結 ・照明設備改修工事、舞台吊物装置更新工事	・指定管理料 52,557千円 ・工事費 284,900千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
その他	令和3年1～3月にホールの照明と電動吊物装置の更新に係る工事を実施し、利用者の安心・安全な活動を保全するとともに、施設の延命化を図る。工事期間中は休館となる。

事業名：江別市文化協会補助金（文化協会事業）

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

NPO法人江別市文化協会

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	江別市文化協会加盟会員数	人	1,973	1,896	1,972	1,900
対象指標 2	加盟団体数	団体	112	111	112	111

手段（事務事業の内容、やり方）

NPO法人江別市文化協会に補助金を交付する。  
◎江別市教育振興事業補助金交付規則

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	350	350	350	350
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

会員による自主的・主体的な芸術文化活動が活発に行われ、広く市民にその活動が浸透し、新たな活動領域の出現や団体等の形成、会員の増加を促進する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	主催・支援事業数	件	22	19	24	22
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	350	350	350	350
正職員人件費 (B)		千円	762	763	778	774
総事業費 (A+B)		千円	1,112	1,113	1,128	1,124

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	対象事業 ①会員交流事業、②会員拡大・研修・活動促進事業、③顕彰事業、④文化活動発信事業、⑤えべつ文化未来事業、⑥文化振興調査研究事業	・補助金	350千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：文化振興奨励事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策				
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市民	人	118,979	118,971	118,971	119,510
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

対象の個人・団体に対し、全国大会等出場奨励金を支給する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	奨励金支給個人数	人	4	6	8	4
活動指標 2	奨励金支給団体数	団体	3	0	1	2

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

活動を行う個人や団体が奨励金の支給を受け、さらなる意欲の向上が図られる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	入賞個人数	人	0	4	5	4
成果指標 2	入賞団体数	団体	1	0	0	2

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	330	60	240	240
正職員人件費 (B)		千円	381	381	389	387
総事業費 (A+B)		千円	711	441	629	627

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人：10,000円以内、本市に在住していること（就学以前の者を除く）。</li> <li>・団体：100,000円以内（10人未満の団体は、出場者数に10,000円を乗じた額以内の額）、本市に主たる活動の場を有し、かつ、その構成員の8割以上が本市在住の市民で組織されていること（就学以前の者を除く）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会等出場奨励金 240千円</li> </ul>	

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別音楽協会補助金

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策				
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金 事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別音楽協会

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 構成人員数	人	350	350	350	350
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

江別音楽協会に補助金を交付する。  
◎江別市教育振興事業補助金交付規則

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 補助金額	千円	900	900	900	900
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内の学校や音楽団体の水準向上と人材育成を図り、市民の音楽文化に対する関心を高める。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 事業参加者数	人	1,407	1,982	1,410	1,040
成果指標 2 事業への来場者数	人	1,716	4,006	2,250	3,200

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	900	900	900	900
正職員人件費 (B)	千円	381	381	389	387
総事業費 (A+B)	千円	1,281	1,281	1,289	1,287

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度	・「夏の演奏会」「プリズムコンサート」「楽器別講習会」の開催	・補助金 900千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市民芸術祭開催支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

芸術文化の振興を目的とする市民組織

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	構成関係団体数	団体	2	2	2	2
対象指標 2	構成委員数	人	41	16	15	15

手段（事務事業の内容、やり方）

各実行委員会に補助金を交付する。  
◎江別市芸術文化奨励補助金交付要綱

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,000	900	1,600	500
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動を活発に行い、江別市独自の創造型芸術文化活動を創出する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	市民芸術祭の参加者数（参加者＋鑑賞者）	人	1,466	703	1,584	910
成果指標 2	開催事業数	回	3	4	3	3

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	1,000	900	1,600	500
正職員人件費 (B)		千円	3,428	3,432	3,499	2,709
総事業費 (A+B)		千円	4,428	4,332	5,099	3,209

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	各実行委員会が行う次の3部門の市民創造型芸術文化事業とする。 ・舞台部門（市民ミュージカル公演 3年に1回。直近はR元） ・音楽部門（まちかどコンサート 年2回。R2は25周年のため、特別編も実施予定） ・展示部門（市民美術展受賞作品展 5年に1回。直近はH29）	・まちかどコンサート 500千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：北海道林木育種場旧庁舎維持管理経費 生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策				
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

北海道林木育種場旧庁舎

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	敷地面積	m <sup>2</sup>	5,053.53	5,053.53	5,053.53	5,053.53
対象指標 2	延床面積	m <sup>2</sup>	1,388.09	1,388.09	1,388.09	1,388.09

手段（事務事業の内容、やり方）

（公社）シルバー人材センターに管理を委託し、施設利用者の把握、清掃などを行う。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	開館日数	日	115	113	120	116
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適正に維持管理される。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	利用者数	人	841	628	691	720
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	1,744	2,192	1,981	1,752
正職員人件費 (B)		千円	381	381	389	1,161
総事業費 (A+B)		千円	2,125	2,573	2,370	2,913

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	北海道林木育種場旧庁舎の管理運営	維持管理経費 1,752千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名：野幌太々神楽伝承会補助金

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市野幌太々神楽伝承会

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	構成員数	人	23	23	18	23
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市民団体として、市民への公演会や保存団体への協力を行う太々神楽の保存伝承活動を支援し、永く無形民俗文化財の保存に努める。  
 ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、補助金を交付する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	300	300	300	300
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

指定文化財「野幌太々神楽」を永く保護保存するとともに、保存伝承活動を全市的活動に広げる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	発表会及び研修会等活動日数	日	32	28	31	28
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	300	300	300	300
正職員人件費 (B)		千円	381	381	389	387
総事業費 (A+B)		千円	681	681	689	687

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	江別市野幌太々神楽伝承会の公演等の保存伝承活動事業に対し、補助金を交付し支援する。	江別市野幌太々神楽伝承会への補助	300千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：野幌太々神楽保存会補助金

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	昭和59年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市指定文化財保存団体「野幌太々神楽保存会」

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	構成員数	人	170	160	170	160
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市指定文化財保持団体の保存伝承活動を支援し、永く無形民俗文化財の保存に努める。  
 ・「文化財保護条例」、「文化財保護条例施行規則」に基づき、補助金を交付する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	150	150	150	150
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

指定文化財を適切に保護、保存する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	発表会及び研修会等活動日数	日	36	32	23	24
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	150	150	150	150
正職員人件費 (B)		千円	381	381	389	387
総事業費 (A+B)		千円	531	531	539	537

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	市指定文化財「野幌太々神楽」の保持団体である「野幌太々神楽保存会」の保存伝承活動に対し、補助金を交付し支援する。	野幌太々神楽保存会への補助	150千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：陶芸文化普及振興事業

セラミックアートセンター

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策				
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 市民	人	118,979	118,971	118,971	119,510
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・陶芸を中心とした企画展示事業の開催。
- ・陶芸体験、初級・中級等の教室や講座の開催。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 展示事業数	回	5	4	1	1
活動指標 2 教室・講座等事業数	事業	30	32	30	32

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・多くの市民に陶芸体験の機会や鑑賞の機会を提供し、陶芸文化、ひいては芸術文化全般に対する市民意識の高揚を図る。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 展示事業入場者数	人	5,828	5,915	4,200	4,000
成果指標 2 教室・講座等事業参加者数	人	6,272	5,879	4,700	5,300

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	7,318	6,763	6,444	6,769
正職員人件費 (B)	千円	6,094	6,102	6,220	5,419
総事業費 (A+B)	千円	13,412	12,865	12,664	12,188

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 ・「工房利用者作品展」の実施 ・陶芸教室、陶芸体験、各種講座等の実施	・陶芸指導員報酬 5,079千円 ・展示会実施経費 39千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市民文化祭開催支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

NPO法人江別市文化協会

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	文化協会構成団体数	団体	112	111	112	111
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

NPO法人江別市文化協会に補助金を交付する。  
◎江別市教育振興事業補助金交付規則

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	2,400	2,400	2,400	2,400
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民文化祭を開催することにより、発表や鑑賞等を契機に芸術文化活動への興味関心が高まり、市民主体のより積極的な活動が行われる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	参加者数（出演者＋来場者）	人	20,010	14,771	14,000	15,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	2,400	2,400	2,400	2,400
正職員人件費 (B)		千円	1,905	1,907	1,944	1,935
総事業費 (A+B)		千円	4,305	4,307	4,344	4,335

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	市民芸術文化活動の活性化を図るため、開催事業経費から事業収入を控除した額を補助する。 【部門別事業】 ①舞台部門（大正琴フェスティバルほか計10事業） ②展示部門（市民美術展ほか計8事業） ③文芸部門（短歌大会ほか計4事業） ④生活文化部門（将棋大会ほか計2事業）	・補助金 2,400千円

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：芸術鑑賞招へい事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

芸術鑑賞機会の充実を目的とする市民団体

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	補助金交付市民団体数	団体	3	3	3	3
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

芸術文化鑑賞機会の充実を目的とする市内の芸術文化活動団体及びこれらの団体で構成する実行委員会等を対象に補助金を交付する。  
◎江別市芸術文化奨励補助金交付要綱

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,850	1,850	1,850	1,850
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市民の主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動が活発に行われる。
- ・質の高い芸術鑑賞機会が増える。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	鑑賞者数	人	2,223	2,368	2,300	2,300
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	1,850	1,850	1,850	1,850
正職員人件費 (B)		千円	762	763	778	774
総事業費 (A+B)		千円	2,612	2,613	2,628	2,624

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	・プロの団体・個人を招へいし、質の高い舞台芸術公演を実施する。	・音楽関係公演	1,200千円
		・演芸関係公演	650千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：埋蔵文化財発掘調査事業

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化		戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造		具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

埋蔵文化財包蔵地（遺跡）

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 埋蔵文化財包蔵地	カ所	142	142	142	142
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

1. 埋蔵文化財包蔵地のデータ管理及び詳細分布調査等の実施と、資料の整備・公開により、市民ほか関係者に周知する。  
 2. 埋蔵文化財包蔵地の現状保存が困難な各種土木工事等に伴い発掘調査等の措置により、記録保存を行う。  
 3. 各種土木工事等に伴う発掘調査費の積算や、国・道費との調整を図り、事業を実施する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 所在確認調査・試掘調査実施件数	件	0	6	4	3
活動指標 2 発掘調査実施件数	件	4	1	1	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

埋蔵文化財を適切に保護、保存する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 埋蔵文化財保護件数	件	4	7	5	4
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	9,513	9,714	10,572	17,422
正職員人件費 (B)	千円	9,903	13,729	13,995	13,934
総事業費 (A+B)	千円	19,416	23,443	24,567	31,356

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 埋蔵文化財包蔵地の現状保存が困難な各種土木工事等に伴い、記録保存のための発掘調査を実施する。埋蔵文化財包蔵地に関する資料の管理・公開や確認調査等を実施する。	発掘調査に伴う費用 作業員等報酬 9,237千円 委託料 4,664千円 確認調査等に伴う費用 委託料他 266千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：郷土資料館企画展開催事業

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策				
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市民	人	118,979	118,971	118,971	119,510
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- 郷土資料館収蔵資料を中心とした企画展を開催する。
- 未公開資料を積極的に活用し、市民に多くの郷土資料を紹介する。
- 展示資料の追調査等を実施することによって、資料データの充実を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	企画展開催数	回	2	2	2	2
活動指標 2	展示資料点数	点	116	242	127	100

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

郷土資料館収蔵資料の公開を通じて、市民に郷土の歴史・文化に関心を持ってもらい、さらに、ふるさと意識の醸成を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	企画展入場者数	人	4,130	4,628	3,000	3,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	47	53	107	79
正職員人件費 (B)		千円	1,524	3,051	1,555	1,548
総事業費 (A+B)		千円	1,571	3,104	1,662	1,627

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	郷土資料館ロビーにて企画展を開催し、市民の寄贈資料や発掘調査で得た考古資料等を公開することで、江別の歴史や文化に対する関心を深めてもらう。	展示に伴う経費	79千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：ふるさと江別塾～「江別を学ぶ」開催事業 郷土資料館 業務係

政策	07 生涯学習・文化		戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造		具体的施策				
開始年度	平成 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市民	人	118,979	118,971	118,971	119,510
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市民が郷土史を学ぶための各種講座を開催するとともに、見学受け入れや資料貸出等を通じて小中学校の学習を支援する。

- 子ども学芸員カレッジ（小学生）
- 縄文土器を作ろう！（小学生）
- 総合的な学習支援事業（小中学生）
- 再発見・江別探訪（一般）
- ふるさと歴史講座（一般）
- 歴史を学ぼう（小中学生・一般）

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	事業開催回数	回	48	47	45	45
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民に郷土の歴史に対する理解を深めてもらう。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	2,678	2,299	2,300	2,400
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	287	234	218	202
正職員人件費 (B)		千円	4,190	3,814	4,276	4,258
総事業費 (A+B)		千円	4,477	4,048	4,494	4,460

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども学芸員カレッジ：小学生対象</li> <li>縄文土器を作ろう！：小学生対象</li> <li>再発見・江別探訪：一般対象（史跡等の見学）</li> <li>ふるさと歴史講座：一般対象（江別の歴史・文化）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども学芸員カレッジ開催経費 59千円</li> <li>縄文土器を作ろう！開催経費 39千円</li> <li>再発見・江別探訪開催経費 59千円</li> <li>ふるさと歴史講座開催経費 25千円</li> </ul>	

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名：郷土資料館管理運営経費

郷土資料館 業務係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

郷土資料館  
屯田資料館  
野幌屯田兵屋

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	3
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

郷土資料館の維持管理に要する経費。  
・常設展・企画展など展示事業の適正な管理運営  
・講座等教育普及事業の適正な管理運営  
・郷土資料の収集・保存・調査研究  
屯田資料館及び野幌屯田兵屋の維持管理並びに運営に関する経費。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	郷土資料館開館日数	日	300	300	305	301
活動指標 2	屯田資料館開館日数	日	65	60	69	63

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・市民に江別の歴史を理解してもらう。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	郷土資料館利用者数	人	7,698	8,217	7,400	7,500
成果指標 2	屯田資料館及び野幌屯田兵屋利用者数	人	784	561	1,102	950

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	13,109	14,167	13,520	15,656
正職員人件費 (B)		千円	4,952	4,576	5,054	7,354
総事業費 (A+B)		千円	18,061	18,743	18,574	23,010

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）			
2年度	郷土資料館、屯田資料館、野幌屯田兵屋各施設の維持管理及び資料展示等の運営	・施設管理及び解説担当職員報酬	5,754千円	・燃料費（重油等）	635千円
		・光熱水費（電気、ガス、水道）	1,267千円	・保守管理委託経費	5,853千円

2年度への改善方向性(2月時点)		改善方向性選択理由（維持以外は記載）	
見直し		より効率的に各施設を管理運営するため、屯田資料館管理運営経費と事業を統合する。	

事業名：学校プール開放事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略	
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策	
開始年度	—	終了年度	—
		区分1	継続
		区分2	単独
			補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 開放校区の児童・生徒（中学生）数	人	8,726	8,582	7,983	8,076
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

学校プールを夏季休業期間中、開放・管理する。プールの水質管理のほか、開放校毎に開放時間中2名のプール監視員を配置し、原則、日曜と水曜を休業日としている。午前10時から正午までと午後1時から午後3時30分まで開放している。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 開放校数	校	15	15	15	15
活動指標 2 開放日数	日	14	14	14	14

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校プールを夏季休業期間中開放し、水泳に親しむ機会を提供することで、小中学生の体力・健康増進を図る。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 利用者数	人	8,375	10,306	9,499	10,000
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	3,382	3,542	3,787	3,761
正職員人件費 (B)	千円	2,285	2,288	2,333	2,322
総事業費 (A+B)	千円	5,667	5,830	6,120	6,083

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 夏季休業期間中に小学校15校のプールを、開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者に開放する。	監視員等報酬 3,244千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 体育施設開放事業（学校体育館土曜開放）

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

開放校及びその周辺地区の児童、生徒及びその保護者

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	実施校区の児童・生徒数	人	5,635	5,635	5,707	5,746
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

学校週5日制の対応として、毎週土曜日午前8時30分から正午まで市内10小学校の体育館を開放し、利用者の自由なスポーツ活動（バドミントン・バレーボール・バスケットボール・ドッジボール・その他軽スポーツ等）に供するほか、グラウンドを自由開放する。出入口の錠の開閉や安全管理・器具使用上等の指導・説明等のため1校に2名の指導員を配置している。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	開放校数	校	10	10	10	10
活動指標 2	開放日数	日	169	206	184	190

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・学校週5日制により生じた休日を子供たちが家に閉じこもることなく、有意義に過ごし健やかに成長する。
- ・スポーツ少年団等のスポーツ組織へ未加入の子供たちに対し、スポーツに親しむ機会を提供する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	利用者数	人	2,859	2,290	2,500	2,500
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	1,062	1,195	1,185	1,174
正職員人件費 (B)		千円	1,524	1,525	1,555	1,548
総事業費 (A+B)		千円	2,586	2,720	2,740	2,722

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	土曜日に小学校10校の体育館及びグラウンド（夏季）を、開放校及びその周辺の児童、生徒及びその保護者に開放する。	指導員謝礼	1,040千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：屋外体育施設管理運営事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

はやぶさ運動広場、屋外スケートリンク

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	施設数	施設	2	2	2	2
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・はやぶさ運動広場の利用受付、維持管理や軽易な補修整備を行う。
- ・屋外スケートリンクのリンク造成、運営管理を行う。
- ・両施設とも業務委託で行う。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	はやぶさ運動広場開放日数	日	184	194	190	190
活動指標 2	屋外スケートリンク開場日数	日	27	27	25	25

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・運営を適切に行い、市民がスポーツに親しむ場を提供する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	はやぶさ運動広場利用者数	人	20,070	16,459	17,000	18,000
成果指標 2	屋外スケートリンク利用者数	人	12,496	12,111	13,000	13,000

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	6,130	6,131	6,212	6,320
正職員人件費 (B)		千円	762	763	1,555	774
総事業費 (A+B)		千円	6,892	6,894	7,767	7,094

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	施設の管理運営、スケートリンク造成を業務委託により実施する。	委託料	6,320千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スポーツ少年団補助金

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略							
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市スポーツ少年団

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	登録団数	団	43	43	43	44
対象指標 2	登録団員数	人	1,075	984	938	938

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・スポーツ少年団が行う単位少年団育成強化事業、交流事業、リーダー養成事業等に対して補助を行う。
- ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市体育協会を通じて江別市スポーツ少年団に対し定額を補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	2,007	1,992	1,901	1,931
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・スポーツを行う青少年を増やす。
- ・青少年スポーツを指導する有資格者を増やす。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	小中学生に対するスポーツ少年団員の割合	%	12.3	11.5	11.2	10.9
成果指標 2	認定指導員の数	人	149	149	140	140

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	2,007	1,992	1,901	1,931
正職員人件費 (B)		千円	762	763	778	774
総事業費 (A+B)		千円	2,769	2,755	2,679	2,705

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	江別市スポーツ少年団に対し補助金を支出。	補助金	1,931千円

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名： あけぼのパークゴルフ場管理運営事業 スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略	
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策	
開始年度	—	終了年度	—
		区分1	継続
		区分2	単独
			補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

あけぼのパークゴルフ場

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 指定管理料	千円	10,397	10,881	10,919	11,083
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理を適切に行い、パークゴルフに親しむ場を提供する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 利用者数	人	30,247	29,648	33,140	34,000
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	10,397	10,881	10,919	11,083
正職員人件費 (B)	千円	762	763	778	774
総事業費 (A+B)	千円	11,159	11,644	11,697	11,857

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料 11,083千円

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：江別市スポーツ協会補助金

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略							
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市スポーツ協会

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	加盟団体数	団体	25	25	25	25
対象指標 2	加盟人数	人	6,731	7,231	6,500	6,500

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・スポーツ協会が行う単位協会活動費補助事業、ジュニアスポーツ育成事業、全道大会開催助成事業等に対し補助を行う。
- ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市スポーツ協会に対し定額を補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,705	1,449	1,714	1,378
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・競技力の向上
- ・競技スポーツをする人の増加
- ・競技スポーツを指導する人の増加と資質向上

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	主催・共催事業実施数	事業	5	5	5	5
成果指標 2	有資格指導者数	人	408	398	440	440

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	1,705	1,449	1,714	1,378
正職員人件費 (B)		千円	762	763	778	774
総事業費 (A+B)		千円	2,467	2,212	2,492	2,152

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	江別市スポーツ協会に対し補助金を支出。	補助金	1,378千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：全国大会等開催補助事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市民	人	118,979	118,971	118,971	119,510
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市で開催される全国大会の運営経費の一部を補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	全国大会件数	件	0	2	1	0
活動指標 2	補助金額	千円	0	250	150	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民が全国レベルの高度なプレーに触れることができる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	参加者数	人	0	360	486	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	0	250	150	0
正職員人件費 (B)		千円	0	763	389	0
総事業費 (A+B)		千円	0	1,013	539	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	令和2年度は、市内で開催予定の大会がないため、補助金の支出なし。	なし

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
休止	市内で開催される全国大会に対する補助であり、令和2年度は開催予定の大会がないため、補助金の支出なし。



事業名：森林キャンプ場管理運営事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

森林キャンプ場

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 指定管理料	千円	5,946	7,636	8,120	7,777
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・運営を適切に行い、自然と触れ合う場を提供する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 利用者数	人	13,005	12,192	3,945	13,000
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	5,946	7,636	7,663	7,777
正職員人件費 (B)	千円	762	763	778	774
総事業費 (A+B)	千円	6,708	8,399	8,441	8,551

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料 7,777千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スポーツ普及奨励事業（スポーツ大会出場奨励金交付）

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略	
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策	
開始年度	—	終了年度	—
		区分1	継続
		区分2	単独
			補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

全道大会規模以上のスポーツ大会に出場する市民

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算	
対象指標 1	全道大会規模以上のスポーツ大会に出場する市民数	人	426	291	323	397
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

予選を経て、全道規模以上の大会に出場する市民（個人及び大学生以下の団体）の参加負担の軽減を図るとともに、市のスポーツ支援政策として奨励金を交付する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算	
活動指標 1	補助金額	千円	2,652	2,495	2,000	2,000
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

スポーツ大会に出場する市民の経費負担を軽減し、スポーツの振興を図る。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算	
成果指標 1	全道大会出場者数	人	264	95	216	211
成果指標 2	全国大会出場者数	人	145	180	162	172

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	2,652	2,495	2,000	2,000
正職員人件費 (B)	千円	762	1,525	1,555	1,548
総事業費 (A+B)	千円	3,414	4,020	3,555	3,548

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 予選を経て、全道大会以上に出場する市民（個人及び大学生以下の団体）に奨励金を交付する。 全道大会出場：小学生・中学生のみ 3,000円/人 全国大会出場：道外開催 10,000円/人、道内開催 5,000円/人 国際大会出場：10,000円～30,000円/人（大会内容、開催地によって変動）	奨励金 2,000千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スポーツ普及奨励事業（青少年スポーツ賞顕彰）

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

**対象（誰、何に対して事業を行うのか）**

スポーツ競技団体登録児童生徒

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算	
対象指標 1	スポーツ競技団体登録児童生徒数	人	1,075	984	938	938
対象指標 2						

**手段（事務事業の内容、やり方）**

全国大会・全道大会で優秀な成績を収めた児童生徒を表彰する。  
 ・スポーツ賞：全国大会で、優秀な成績記録を収めた者（高校生以下）  
 ・スポーツ奨励賞：全道大会で1位の成績記録を収めた者（高校生以下）  
 ・教育委員会賞：全道大会で2位又は3位の成績記録を収めた者（中学生以下）

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	審査会開催数	回	3	3	3
活動指標 2					

**意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）**

各種スポーツ競技において優秀な成績を収めた選手を表彰することによって、競技スポーツの活性化を図る。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算	
成果指標 1	受賞者数	人	69	74	82	77
成果指標 2						

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	1,322	1,845	1,500	1,495
正職員人件費 (B)	千円	1,524	1,907	1,944	1,935
総事業費 (A+B)	千円	2,846	3,752	3,444	3,430

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 全国大会・全道大会で優秀な成績を収めた児童生徒を表彰する。	表彰楯・記念バッジ 1,315千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：社会人体育団体学校開放事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

スポーツ・レクリエーション活動を行うスポーツクラブ（学校部活・営利団体を除く）

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	クラブ登録数	団体	143	139	144	140
対象指標 2	クラブ登録人数	人	2,688	2,543	2,796	2,800

手段（事務事業の内容、やり方）

10名以上で、かつその8割以上が市内に在住又は勤務先を有し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を対象として、市内25小中学校体育館（通年）とグラウンド（夏季）の開放を行う。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	開放校数	校	25	25	25	25
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民のスポーツクラブが定期的にスポーツ・レクリエーション活動を行うことが可能な場を提供することによって、競技スポーツの振興と健康・体力づくりとしてのスポーツに親しむ機会が増加する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	学校開放利用人数	人	147,860	140,606	150,000	150,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	226	1	307	268
正職員人件費 (B)		千円	2,666	2,669	2,721	2,709
総事業費 (A+B)		千円	2,892	2,670	3,028	2,977

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	10名以上で、かつその8割以上が市内に在住又は勤務先を有し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を対象として、市内25小中学校体育館（通年）とグラウンド（夏季）の開放を行う。	清掃用具・スポーツ用品等消耗品 180千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：地域スポーツ活動活性化促進事業 スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

**対象（誰、何に対して事業を行うのか）**

学校、自治会等

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	学校、自治会等の数	団体	187	187	190	190
対象指標 2						

**手段（事務事業の内容、やり方）**

地域や学校、団体などにメニューを提示し、選ばれた軽スポーツメニューの指導要求に応じ、スポーツ推進委員が指導に出かける。活動場所の確保は依頼団体が行う。  
メニューは子どもから高齢者まで楽しめるものを多数用意している。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	スポーツ推進委員数	人	29	29	25	30
活動指標 2						

**意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）**

軽スポーツ、レクリエーションに親しむ人を増やす。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	出前指導派遣者数	人	15	9	24	24
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	187	149	298	269
正職員人件費 (B)		千円	381	381	389	387
総事業費 (A+B)		千円	568	530	687	656

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	地域や学校、団体からの申込に応じ、スポーツ推進委員を派遣して、軽スポーツを指導・普及する。	スポーツ推進委員報酬 151千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 3市交流スポーツ大会開催事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策				
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市民	人	118,979	118,971	118,971	119,510
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市、札幌市厚別区、北広島市の市民を対象に実施する交流事業の一つで、スポーツ部門ではパークゴルフ大会を3市持ち回りで開催する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	大会数	大会	1	1	1	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

近隣市の地域住民がスポーツ大会を通じて交流し、親睦を深めるとともに、参加者の健康増進と技術の向上を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	市民の参加者数	人	84	78	70	70
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	101	0	0	80
正職員人件費 (B)		千円	762	0	0	387
総事業費 (A+B)		千円	863	0	0	467

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	令和2年度は江別市で近隣市交流パークゴルフ大会を開催する。	入賞記念楯等報賞品 65千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スポーツ大会等振興補助事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略							
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般財団法人江別市スポーツ振興財団

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	対象団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・江別市スポーツ振興財団が行う原始林クロスカントリー大会などのスポーツ大会、健康体づくり指導相談事業、スポーツ指導者養成事業に対して補助を行う。
- ・「江別市スポーツ振興財団運営費等補助金交付要領」に基づき、一般財団法人江別市スポーツ振興財団に対し定額を補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	44,783	44,236	44,785	43,532
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

健康づくりに興味・関心を持ち、大会参加を視野に入れたスポーツ活動を日常的に継続できる習慣を身につけ、生涯スポーツの基盤を構築する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	参加者数	人	7,509	7,906	8,000	8,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	44,783	44,236	44,785	43,532
正職員人件費 (B)		千円	762	763	778	774
総事業費 (A+B)		千円	45,545	44,999	45,563	44,306

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	一般財団法人江別市スポーツ振興財団に対し、補助金を支出。	補助金	43,532千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：屋内体育施設管理運営事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民体育館、大麻体育館、青年センター、東野幌体育館

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	施設数	施設	4	4	4	4
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	176,996	182,219	187,609	190,175
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・運営を適切に行い、スポーツに親しむ場を提供する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	利用者数（4館合計）	人	503,541	487,594	500,000	500,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	176,996	182,219	186,108	190,175
正職員人件費 (B)		千円	3,047	3,051	3,110	3,096
総事業費 (A+B)		千円	180,043	185,270	189,218	193,271

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	施設の管理運営を指定管理者へ委託する。	指定管理料	190,175千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名：スポーツ合宿誘致推進事業

スポーツ課参事（合宿誘致・スポーツ交流事業）

政策	07 生涯学習・文化		戦略				
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実		具体的施策				
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 市民	人	118,979	118,971	118,971	119,510
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

広くスポーツ団体等に江別市の魅力をPRするとともに、合宿時の送迎サービスの提供、道立野幌総合運動公園等の施設使用料の補助、市内宿泊施設利用時の宿泊料補助、江別特産品の提供など、道外からの合宿利用団体への支援により合宿誘致を推進する。  
「江別市スポーツ合宿誘致推進事業実施要綱」に基づき、合宿団体に対し、合宿の内容、実績に応じて補助等の支援をする。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 協議会開催数	回	0	0	1	1
活動指標 2 道外へのPR活動回数	回	0	0	0	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

スポーツ合宿の誘致、支援活動を通じ、市民の健康づくり、スポーツへの関心度を高めるとともに、トップアスリートなどとの交流により、ハイレベルなスポーツ技術の向上と市民スポーツ活動の活性化を図る。また、江別市のイメージアップによる誘客と人的交流を促進するなど、シティプロモートに資する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 合宿を行った団体数（道外）	団体	14	10	14	12
成果指標 2 市民との交流事業数	回	14	10	14	12

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	3,311	2,710	2,892	2,829
正職員人件費 (B)	千円	6,094	9,152	6,220	6,193
総事業費 (A+B)	千円	9,405	11,862	9,112	9,022

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	各種スポーツ団体への江別市のPRを行い合宿誘致を進め、道外からの合宿団体に対する送迎サービス、道立野幌総合運動公園等の施設使用料の補助などの支援を行う。また、合宿団体との調整により市民との交流事業を実施する。	送迎バス借上げ料	1,297千円
		道立野幌総合運動公園等施設使用料補助	450千円
		市内宿泊時の宿泊施設の利用料補助	834千円
		特産品提供経費	248千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 総合型地域スポーツクラブ支援事業 スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策				
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市民	人	118,979	118,971	118,971	119,510
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

総合型地域スポーツクラブのPRを支援し、市民に情報提供を行う。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	PR支援回数	回	3	3	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

総合型地域スポーツクラブの活動が活性化することにより、市民のスポーツの機会が充実する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	クラブ数	団体	3	3	3	3
成果指標 2	クラブ会員数	人	709	703	650	650

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	381	381	389	387
総事業費 (A+B)		千円	381	381	389	387

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	市内の総合型地域スポーツクラブを広報等で紹介し、市民に情報提供を行う。	人件費事業のため予算措置なし

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：はやぶさ運動広場移転事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策				
開始年度	令和 2年度	終了年度	令和 3年度	区分1	新規	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市民	人	0	0	0	119,510
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

令和2年度 現況測量・基本設計・実施設計  
令和3年度 建設工事

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	事業費	千円	0	0	0	1,540
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

はやぶさ運動広場の少年野球場と多目的広場を都市と農村の交流センターに移転整備する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	移転整備された施設数	施設	0	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	1,540
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	3,096
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	4,636

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	少年野球場の建設に係る現況測量、基本・実施設計	現況測量委託料 1,540千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	はやぶさ運動広場内の施設の老朽化や植樹帯の安全対策、水飲み場の衛生対策などの課題があり、また、施設の設置当初と比べて周辺環境が大きく変化していることから、はやぶさ運動広場の移転を行うこととなった。

事業名：オリンピック・パラリンピック推進事業 スポーツ課参事（合宿誘致・スポーツ交流事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策				
開始年度	令和 2年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 市民	人	0	0	0	119,510
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市に縁のあるオリンピック・パラリンピアンを応援するための、応援看板等を設置し市民の意識高揚を図るとともに、パブリックビューイングを実施する。  
パラリンピック採火式イベントを実施する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 イベント開催数	回	0	0	0	2
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

東京2020オリンピック・パラリンピックを通じ、市民のスポーツへの関心を高め、スポーツの魅力や楽しさを再認識するとともに、市民スポーツ活動の活性化を図る。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 参加者数	人	0	0	0	300
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	0	1,000
正職員人件費 (B)	千円	0	0	0	5,806
総事業費 (A+B)	千円	0	0	0	6,806

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 ・応援看板の設置 ・パブリックビューイングの実施 ・パラリンピック採火式イベントの実施	・パブリックビューイング経費 615千円 ・応援看板経費 385千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	『東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会』の開催を通じ、市民の健康づくり、スポーツへの関心を高め、スポーツの魅力や楽しさを再認識するとともに、オリンピック・パラリンピアンを応援するためのイベントを実施する。

事業名： 障がい者スポーツ大会開催事業

スポーツ課参事（合宿誘致・スポーツ交流事業）

政策	07 生涯学習・文化	戦略	
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策	
開始年度	令和 2年度	終了年度	—
	区分1	新規	区分2 単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

大会実行委員会

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 大会実行委員会	委員会	0	0	0	1
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

障がい者スポーツ大会の開催市として、必要な経費を負担する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 大会実施競技数	種目	0	0	0	1
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

障がい者スポーツの全道大会の開催を支えることで、市民における障がい者スポーツの認知度を高め、障がいの有無に関わらず、あらゆる市民が多様なスポーツに取り組める環境をつくる。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 参加者	人	0	0	0	150
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	0	1,350
正職員人件費 (B)	千円	0	0	0	3,096
総事業費 (A+B)	千円	0	0	0	4,446

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 ・障がい者スポーツ大会の開催に係る開催市負担金の支出。 ・大会事務局として大会運営に係る調整業務を行う。	・開催市負担金 1,350千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	身体障がい者及び知的障がい者がスポーツを通じて体力を維持・増進し、障がい者の自立と社会参加の促進を図るとともに、障がい者に対する理解を深め、障がい者のスポーツをより発展させることを目的に毎年輪番制で道内各自治体で開催している。

事業名：小中学生国内交流研修事業

生涯学習課 青少年係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

国内交流研修訪問団

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	研修訪問団構成員数	人	16	16	16	16
対象指標 2	土佐市からの研修訪問人数	人	16	16	16	16

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・友好都市土佐市との相互交流  
派遣：＜事前研修＞8月下旬～10月上旬／土佐市・江別市の概要学習、交流会プログラム企画等  
＜実地交流研修＞10月中旬／ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学  
受入：＜土佐市訪問団受入＞1月中旬／ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学
- ・事業集録作成
- ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、交流研修訪問団に対し、補助金を支出する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,232	1,232	1,153	1,115
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

土佐市との教育交流の中から児童生徒の友好都市への認識を深めるとともに、様々な生活文化や風土にふれ、豊かな感性が養われるようになる。また、異なる文化等に触れることで、自分の住む地域を見つめ直し、江別市への理解を深めて郷土愛を育む。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	交流イベント参加者数	人	4,482	3,535	2,781	3,404
成果指標 2	訪問した学校の生徒数	人	1,027	787	727	1,065

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	1,566	1,563	1,578	1,535
正職員人件費 (B)		千円	3,809	3,432	3,499	3,483
総事業費 (A+B)		千円	5,375	4,995	5,077	5,018

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣 ＜事前研修＞8月下旬～10月上旬／土佐市・江別市の概要学習、交流会プログラム企画等 ＜実地交流研修＞10月中旬／ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学</li> <li>・受入 ＜土佐市訪問団受入＞1月中旬／ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学</li> <li>・事業集録作成</li> <li>・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、研修訪問団に対し、補助金を支出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引率教諭、同行職員旅費 420千円</li> <li>・研修訪問団への補助金 1,115千円</li> </ul>	

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：中学生国際交流事業

生涯学習課 青少年係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	02 国際交流の推進			具体的施策					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・海外交流研修訪問団

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	研修訪問団構成員数	人	9	8	8	8
対象指標 2	グレシャムからの訪問人数	人	7	6	7	7

手段（事務事業の内容、やり方）

○姉妹都市グレシャム市との相互交流を行う。  
 ・派遣：＜事前研修＞8月下旬～11月下旬／グレシャム市・江別市の概要学習、語学研修、交流会プログラム企画等  
 ＜実地研修＞12月上旬／ホームステイ、体験入学、施設見学、体験学習  
 ・受入：＜グレシャム市訪問団受入＞2月上旬／ホームステイ、体験入学、施設見学、体験学習  
 ・事業報告書作成  
 ○「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、研修訪問団に対し、補助金を交付する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,448	1,508	1,397	1,249
活動指標 2	アメリカ文化習得のための学習会開催回数	回	9	9	9	9

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・グレシャム市との相互交流を通じ、自国と相手国の文化や歴史に対する理解を深め、国際社会に通用する豊かな国際感覚が養われるようになる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	交流イベント参加者数	人	1,100	1,075	1,227	1,205
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	2,504	2,277	2,225	2,050
正職員人件費 (B)		千円	3,809	3,432	3,499	3,483
総事業費 (A+B)		千円	6,313	5,709	5,724	5,533

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>派遣（事前研修）グレシャム市・江別市の概要学習、語学研修（実地研修）ホームステイ、体験入学、施設見学、体験学習</li> <li>受入ホームステイ、体験入学、施設見学、体験学習</li> <li>事業報告書の作成</li> <li>活動団体の事業に対し補助金を支出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引率教諭旅費 399千円</li> <li>国際交流員旅費 385千円</li> <li>研修訪問団への補助金 1,249千円</li> </ul>	

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	